

ファーマネクスト

# PharmaNext

2007  
4月号

薬局リーダーを目指す薬剤師のステップアップ情報誌

## 薬局内コミュニケーション講座

# 人間関係のトラブルを 乗り越えよう

スペシャルレポート

## 服薬指導のレベルを 高い水準で標準化

### 連載

マンガで学ぶ  
薬剤師のキャリアデザイン

## 薬剤師 MIKI

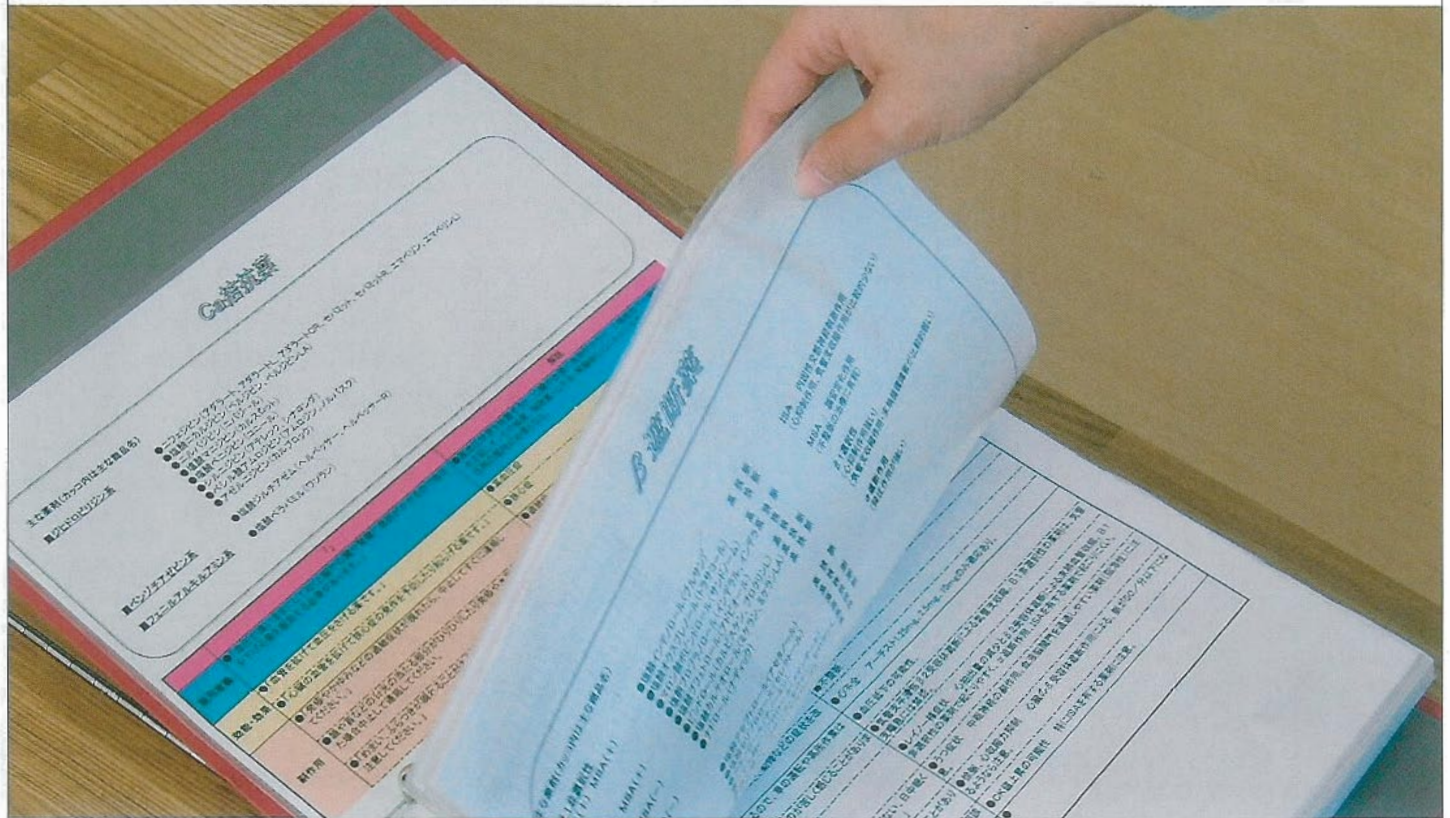
マンガでわかる!  
Community Based Pharmaceutical Care  
次世代型 SOAP 薬歴目指して

### 新連載

ケーススタディーで学ぶ  
栄養相談への対応法

連載対談 あのひとと話したい!





## 服薬指導のレベルを高い水準で標準化

### 工夫を凝らした我が社の服薬指導マニュアル

新人の薬剤師とベテランの薬剤師で服薬指導のレベルが違うのは致し方ないことかもしれない。だが、患者にとっては同じ薬局に行っているにもかかわらず、出てきた薬剤師によって、毎回、指導のレベルが異なるというのは納得できないものがあるだろう。そこで必要になってくるのが服薬指導マニュアル。患者のことを第一に考える薬局は独自のマニュアルを構築し、服薬指導を一定以上の高いレベルで標準化しようとしている。

文・写真 星光洋

### 会話で用いる話し言葉を数多く収載

同社が作成したマニュアルの「総論」は10ページほど。ここでは初回来局時や再来局時の注意事項、服薬指導の流れなどをまとめた。一方、「実践編」は160ページほどのボリューム。中身は高脂血症薬、抗てんかん薬、鎮咳薬など80項目に分類した。

同社が目指したのは調剤薬局の現場ですぐに使えるマニュアルだ。特徴的なのは患者との会話で用いる話し言葉を数多く収載した点。話し言葉をそのまま載せた方が現

### 服薬指導マニュアル3部作

岡山県を地盤とするオカイ・メディカル・ファーマシー（岡山市）は昨夏、独自の服薬指導マニュアルを作成した。「総論」「実践編」「服薬指導ツール」の3部作になっている大作だ。一昨年1月、作成に着手し、約1年半の歳月をかけて完成にこぎ

着けた。

マニュアル作成の狙いは2つある。1つは薬剤師の服薬指導を高いレベルで標準化し、指導内容が薬剤師によって異なることのないようにすること。

もう1つは社歴や経験が違う多くの薬剤師の知識・情報を共有化することだ。



オカイ・メディカル・ファーマシーの服薬指導マニュアルは「総論」「実践編」「服薬指導ツール」の3部作

場で使いやすいからと掲載した。

総論では「薬はあと、どれくらい残っていますか?」「薬をのみ始めて、何か変わったことはありませんか?」などといった具合に記載。実践編でも「この薬はゆるやかに血圧を下げるお薬です。すぐ下がらないからといって、服用を止めたりしないで下さいね」など

と、かなりの数の言葉を収載している。

いずれも患者が分かりやすいよう、専門的な医療用語を平易な言葉に置き換えるなど、言葉の言い回しにも気を配った。

実践編では項目ごとに一覧表を掲載した。縦軸には服薬意義、効能・効果、副作用、相互作用などの項目

を掲げ、横軸にはそれぞれに関する話し言葉と解説を記している。

## 薬剤師全員で作成

マニュアルは學術部の4人を中心に、薬剤師全員で作成した。社内では毎月1回、勉強会を開催。そこで発表する薬剤師には前もってテーマを与え、それぞれひな形に基づいてそのテーマについてまとめた。発表後は全員で意見を交換。こうしてテーマごとにマニュアルを形作り、それを1つ1つ積み重ねてきた。

## 服薬指導ツールも充実

一方、服薬指導ツールは薬剤師が確認のために使用する一覧表や患者に手渡すリーフレットなどを集めたもの。前者ではオリジナルの小児薬用量表などを作成。後者では「乳児のくすりの飲ませ方」「保湿剤のぬり方」といったリーフレットを作った。

「乳児のくすりの飲ませ方」では粉薬の飲ませ方や水薬の飲ませ方などをイラスト付きで解説した。このほか、フルタイムの使い方を示したリーフレットなども用意している。ツールはいずれも學術部が中心となって作成した。今後は「外用剤の使い方」といったリーフレットも手掛ける予定だ。

この服薬指導マニュアル3部作は同社の6店舗全店に設置。将来は疾患別のマニュアルも作成していきたい考えだ。

**乳児のくすりの飲ませ方**

**乳児、母乳やミルクを主な栄養源としている場合**

○通常、薬を飲む時間は1日3回毎食後のような食事や薬を基準とした飲み方ですが、乳児の場合、母乳やミルクを飲んでからでは満腹で薬を飲まないかもしれません。食後にこだわらず、おなかの空いている食前に飲ませるのがよいでしょう。 ※ただし、ドクターより特に指示を受けている場合は、指示通りに服用してください。

**粉薬の飲ませ方**

- 1) 小さな容器の中ですりおろし少量の栄養剤、練乳や母乳を混ぜて飲ませます。
- 2) これをきれいに洗った指先につけます。
- 3) お子さんの口の奥の内側にあつつけて、水やミルクなどで飲ませてください。

○粉薬を飲むときのポイント1  
指先を濡らしてすりおろし混ぜて飲ませてください。水を加えず飲むと濃度が濃くなり薬の効果がなくなります。

**水薬の飲ませ方**

- 1) 1回分をスポイトに取る。
- 2) 少しずつ口の中に入れ、飲み込んでもらう。水やミルクを与えます。

○水薬を飲むときのポイント1  
水薬(特に熱さましなど)は1回分を正確に測りましょう。多めに測らないように気をつけてください。

※スポイトは使用前、よく洗って乾かしておいてください。

**注意事項**

- ◆ミルクを与えている赤ちゃんの場合
  - ◇ミルクに直接薬を入れしないでください。(※薬を口に入れた後、飲ませるのはかまいません。)
  - ミルクを半分しか飲まなかった場合は、薬も半分しか飲んでいないことになります。
  - 味がかわって、ミルクがらになる場合もあります。
- ◆生後1歳未満の赤ちゃんの場合
  - ◇ハチミツは、「乳児ボツリヌス症の予防のため」薬を飲ませるのに使用しないで下さい。

★お子さんを薬嫌いにならないためにも服薬は決してあせらず、愛情をもって根気よく行いましょう。

●お薬のことで疑問などございましたらご相談ください。

おかやま薬局(岡北店)  
086-231-0022

オカイ・メディカル・ファーマシーが「服薬指導ツール」として作成した患者向けリーフレット